

プレルーティング システムについて

定植前に適温で発根をさせることにより、生理障害の減少、草丈の増大の効果を狙う方法です。特に気温が上がる時期からは大きな効果が望めます。

- 効果**
- 1 定植後の発根が速やかで、活着が極めて早い。
(定植後 10 日程で上根が発達し、水分、養分の吸収を始めます。)
 - 2 草丈は高くなり、揃いよく、葉やけ、花飛び・奇形を抑制できます。
 - 3 輪付きはほとんど変わらない、または若干減る場合があります。
 - 4 開花までの日数は、この方法を取らない場合と比較し、10 日～14 日早くなります。
(処理期間は含みません)。

- 方法**
- 1 pH5～6 に調整したピートモスを使用します。
 - 2 球根が入っていたコンテナの底に十分に湿らせたピートモスを 2～3 cm 程敷き、球根を上向きに並べ、球根の上部からピートモスを 5 cm ほど被せます。
 - 3 ユリの発根促進温度は 12～13℃ です。コンテナを積み重ねて、12～13℃ の冷蔵庫の中で 2～3 週間保管します。この際、冷蔵庫内の湿度は 95% 以上に保つのが理想的ですが、湿度調整が出来ない場合はビニール等で覆います。
 - 4 2～3 週間の処理後、芽が 10～15 cm 程は伸び、上根がプツプツと出始めています。

定植時の注意

- 1 土壌が十分に低温であること。(定植前の遮光、灌水などで極力地温を下げる)
- 2 暑い時期は日中を避け、朝、夕方に定植する。
- 3 定植時に球根、根が乾燥するのを防ぐ。
- 4 球根の根が傷つくのを避けるために、土を抑えつけないようにする。葉の展開と共に上根が伸びてきます(特殊な品種を除く)。
- 5 定植後、敷きわらで地温の上昇、乾燥を防ぐ工夫も良い。

